



一東北生産性本部一

第60回通常会員総会の開催



<平成29年6月19日、第60回通常会員総会>

平成29年6月19日（月）13時30分より、仙台商工会議所7階大会議室において、賛助会員の皆さま及び役員を含めて33名の出席により第60回通常会員総会を開催いたしました。

本総会では平成28年度事業報告・決算報告、平成29年度事業計画・予算、役員改選が主な議案であり、それぞれ提案どおり承認されました。なお、会長には宇部文雄氏が再任されました。

平成29年度は、躍進する東北の実現に資するため、これまで蓄積した高品質の人材育成のノウハウを活かし、中核的人材の育成、組織づくりを支援し、社会経済の広範囲な分野で生産性向上に繋がる東北地域に根差した事業活動を実施していきます。また、従来からの製造業分野はもとより、GDPや雇用に占める割合が高いサービス産業分野の生産性向上の実現に向けた諸事業を積極的に推進していきます。

併せて、中長期的に東北地域の生産性向上に関する支援・交流拠点として、個々の組織の課題解決の支援はもとより、業種・業態の異なる人材の交流と育成をめざし、地元経済団体等とも積極的に協力・提携しながら、広域的な事業展開に一層努めて参りますので、今年度も引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

会員総会終了後、『特別講演会』を開催！！



「企業・労働組合幹部のための心の健康」

一般社団法人日本産業カウンセラー協会理事 金田 隆氏

6月21日（火）第60回通常会員総会終了後、恒例となっている生産性特別講演会（39名参加）を開催し、『企業・労働組合幹部のための心の健康』と題して、一般社団法人日本産業カウンセラー協会理事の金田隆氏から講演をいただきました。

講演では、『ストレスには、物理的・科学的・心理社会的とあるが。問題なのは心理社会的ストレスで、他と比べると思うように取除けないのである。厚生労働省の労働者健康状況調査では職場の6割の人は「仕事や職業生活でストレスを感じている」という結果があり、その理由の4割が「職場の人間関係」と最も多い。

ストレスが引き起こす問題には、睡眠障害が多く、体重減少なども顕著に出てくる。ストレス反応は正常なストレス抵抗力を超え、張詰めた状態が続き、耐えられず落ちていくと、抑うつ状態になる。その前にストレスを軽減できれば正常な抵抗力は戻るのである。

このストレスに打ちのめされないためには、基本的な生活習慣を一つひとつ戻すことが大事である。基本的習慣が何かあった時にその人を救う。社内でも同様に職場習慣が、何かあった時にその人を助けていくものである。周りが気づいてあげ、声をかけた時の表情を見逃さず、心配していることを本人に伝えることが大事である。

ストレス耐性を上げるには、3つあり、1つは「自己肯定感の有無」で、自己否定感を持つ人はストレスに弱く、自分は自分だという人は強い。子は褒めて育てるのが大事である。2つ目は「支援の受止め方の巧拙」で、支援の声は素直に受け止めること。「大丈夫です。私はいいです。」ではなく「ありがとうございます。やってみます。」と受け止めること。持ちつ持たれつの関係が後で役に立つのである。3つ目は「障害克服経験」で「若いうちは苦労しろ」とよく言われている。いろんな難関にぶつかって克服するという克服経験がないと、失敗した時のことばかりを考えて前に進まない。経験があれば進める。「若い時の苦労は買ってでもしろ」そのとおりである。』とストレスの理解を深めた講演会となりました。

以上